



大阪市立高校の府移管 学を権利を守れ! 道徳のない高校つぶし反対

大阪の高校を守る会は9月26日、「子どもたちの権利を守れ! 市立高校の府立移管反対 道徳のない高校つぶしに反対する決起集会」を開きました。主催者あいさつで奥野喜久夫会長は、「コロナ禍のなか少人数で手厚く教育をすることに理解が広がっており、学校を残すチャンス。高校つぶし、市立高校府移管、大阪市のものをつぶす一連の動きは許せないと述べました。」

志摩事務局長(府高教委委員長)が、市立高校府移管、府立高校再編整備計画、「20人学級」に向けた動き、大阪府住民投票について報告。分校となった能勢高校、「再編整備の対象」とされた生野工業高校から「現場報告」、大私教書記長、大阪府教職員組合が教育の民営化、教育産業デジタルドリル導入の問題を指摘

行動提起、①子どもたちの学ぶ権利を奪う、高校つぶしに反対し、その元凶「府立学校条例」の抜本的見直しを勝ち取ろう、②市立高校府移管ストップさせよう、③「20人学級」など少人数実現に向けて「教育全国署名」に全力をあげよう、④「都構想」による大阪府解体を許さないために、市民との対話・宣伝などの取り組みに全力をあげよう、が行われました。

議会議 「個別最適化」 誰一人大切にしない

第一回大阪府総合教育会議が9月15日開かれ、①新型コロナウイルス感染症対策に伴うICT等を活用した児童・生徒の学びの保障について、②いじめ重大事態事案への対応について(第三者委員会の常設)、③大阪府教育振興基本計画の延長について協議、確認しました。オンライン学習実施に向けた取り組みスケジューリングは、9月末まで、小6・中3優先でオンライン学習環境整備、全学年で接続テストを実施、10月末まで、全校でオンライン学習を試行実施(小6・中3)、11月以降、学習者用端末の整備にあわせて、順次オンライン学習を試行実施(小6・中3以外)としています。出席した校長、教員が、「ICT支援員に設定、準備や不具合の対応、授業支援など多岐にわたって支援を受け、教員は教えることに集中できた。支援員の配置を」「リモート授業」先生と生徒の人間関係があるということ、授業の中で大事なことは、学校の良さは生徒と先生の関係が大事」と発言しました。

学校教育を歪める「個別最適化」

アメリカのブッシュ政権の下で制定されたNCLB法(誰一人置き去りにしない法)により、統一学力テストで教育に対する国家統制が強められ、貧困層居住地域の公立学校が追い詰められたことを思い出させる。学習の「個別最適化」が、知そのものと、知の獲得過程である学校教育を歪めてしまう可能性があると考えられる。

教職員必要ない、学校さえいらぬ

GIGAスクール構想のためには、ネットワークの整備や端末の購入以外にも、教育コンテンツを教育産業から買い続ける経費が毎年必要になり、IT産業はハード系もソフト系も大きな利益を得ることになる。教育産業から教育コンテンツを購入して授業に置き換えれば、多くの教職員は必要ない、家庭で学習できるなら学校さえいらぬ。

学習というものは、論理の横道に逸れたり、思考の迷路から抜け出せなくなったりしながら、ときには長い時間をかけて、一歩、一歩、自分にとって新しい知を獲得していく過程だ。AI技術を利用して、既存の知識を効率よく教え込むことを「個別最適化」という言葉で表現しているとしたら、とんでもない思い違いで教育政策が左右され、誰一人大切にされない教育が始まってしまふ。『世界』10月号 中嶋哲彦論文より

連協 大阪地区 組合の価値高まる 住民投票勝利の決意



大阪府連・大阪市地区協議会は9月19日第35回定期総会を63人の参加で開催しました。運動の総括と方針が提案され、満場一致で承認されました。

来賓挨拶で、安倍政権、維新府・市政の愚策に次ぐ愚策の連続で、格差と貧困が益々広がっている実態、その中で労働組合の価値が高まっている様子、11月1日の住民投票「協定書」の中身に就いての質問に全く答えられない松井市長の

醜態が述べられました。討論では13人が発言し、大阪府教の宮城委員長が「コロナ禍での教職員からの様々な相談、教採突破講座等の取り組みの中で組合員拡大が進んでいる」と発言。発言者全員が「大阪府廃止」の住民投票での勝利の為に闘い抜く強い決意を述べました。

参院議員会館の集いで本田由紀東大教授は、「非正規雇用の教員に頼るのではなく、法改正により基礎定数を改善して少人数学級を実現することが大切」、乾彰夫東京都立大学名

少人数学級署名

15万人分提出

教育研究者有志が呼びかけた少人数学級のすみやかな実施を求める全国署名15万人分が9月17日、文部科学省に提出されました(大阪府教は「20人以下学級」を展望した少人数学級を求める全国署名に取り組み中)。

政府の教育再生実行会議ワーキンググループが9月8日、少人数学級を推進するよう要請する中間答申をまとめました。署名をを広げ少人数学級を実現しよう。



大阪府教は労働条件・専門部要求書提出交渉を9月1日に行いました。市教委「学校園における働き方改革推進プラン」は、「教員の勤務の長時間化の現状と要因」を分析していますが、「学校園における新型コロナウイルス感染症対策」により業務が増加し、教育活動に支障が生じました。消毒・清掃等を担う教職員の配置、

業務の委託などが求められています。市教委は「実効性のある業務改善策を策定・実施し」「学校業務改善ワーキンググループを設置し、学校現場の負担軽減に向けて様々な取り組みを進めてきた」としており、大阪府教は業務軽減をさらに求めることを求めました。また、休憩時間、授業準備を行う時間の確保、「規模の小さな学校園」の課題を解決すること等を求めました。(青年部)子育て世代の通院者が多くなっている、「何事もなく出産」の方が少ない実態、母性保護の権利拡大を。(女性部)後退した権利回復、不妊・不育治療休

大阪府教は労働条件・専門部要求書提出交渉を9月1日に行いました。市教委「学校園における働き方改革推進プラン」は、「教員の勤務の長時間化の現状と要因」を分析していますが、「学校園における新型コロナウイルス感染症対策」により業務が増加し、教育活動に支障が生じました。消毒・清掃等を担う教職員の配置、

業務の委託などが求められています。市教委は「実効性のある業務改善策を策定・実施し」「学校業務改善ワーキンググループを設置し、学校現場の負担軽減に向けて様々な取り組みを進めてきた」としており、大阪府教は業務軽減をさらに求めることを求めました。また、休憩時間、授業準備を行う時間の確保、「規模の小さな学校園」の課題を解決すること等を求めました。(青年部)子育て世代の通院者が多くなっている、「何事もなく出産」の方が少ない実態、母性保護の権利拡大を。(女性部)後退した権利回復、不妊・不育治療休

暇の拡充、妊娠中の教職員への配慮を。(幼稚園部)育児短時間勤務制度の周知徹底、人事評価制度について新たに要求。(事務職員部)人事、定員(欠員・加配)、評価、各「システム」改善等。(養護教職員部)養護教諭の複数配置、宿泊を伴う学校行事の引率、就学時健康診断の問題。(栄養教職員部)給食費無償化、食器の改善、栄養教諭の配置。(障害児教育部)学びの場の保障、学級設置、サポーターの増員等。(臨時教職員部)採用選考制度の改善、常勤講師の給料表2級適用、主務教諭制度の抜本的改善、会計年度任用職員の労働条件改善。

労働条件 専門部 要求書提出交渉 権利拡充 業務軽減

たんぽぽ だより 10月

あまりにも短い夏休み。休んだ感覚もなく新学期スタート。詰め込みの授業に運動会の練習、毎日が慌ただしいです。こんな状況にも関わらず、市長・知事は「負担をかけます」「頑張っていただ

「たい」の一言で片付け、勝手なごときばかり。挙げ句の果てには都構想!? そんなことする前にやることあるやろう! 本場に現場を理解してないかと改めて感じました。

そんな中でも嬉

しいことがありました。担当している不登校ぎみの児童。1学期は分散登校時に数回来ただけで後は全て欠席。家庭訪問を重ねる中で、2学期には放課後の登校やクラブ活動に参加することができ、先週初めて朝から登校することができました。やはり子どもの頑張りに自分も励まされていると感じました。悩みは尽きませんが、子どもの笑顔のために頑張っていきたいです。